

全部床義歯補綴学（Ⅱ）

責任者・コーディネーター	歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 小林 琢也 教授		
担当講座（分野）	歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習 実習
期間	前期		前期 16.0時間 54.0時間 後期 — —

学修方針（講義概要等）

歯科補綴学とは、歯・口腔・顎・その関連組織の先天性欠如、後天的欠損、喪失や異常を人工装置を用いて修復し、喪失した形態または障害された機能を回復するとともに、継発疾病の予防を図るために必要な理論と技術を考究する学問である。

全部床義歯補綴学では、片顎または上下両顎のすべての歯を喪失した症例に対し、全部床義歯によって修復・整形し、損なわれた口腔と関連組織の形態と機能および外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な方法に関して、理論と技術を修得することを目的に学修する。

教育成果（アウトカム）

全部床義歯補綴学の講義及び実習では、無歯顎患者の喪失あるいは低下した形態と機能を回復・向上させ、健全な社会生活を送るため、無歯顎患者補綴治療の基礎理論を学修し、全部床義歯の基本構造や支持・維持・安定の原則を学修する。また、無歯顎患者の診察、診断、適切な治療計画の立案、義歯の設計理論と製作工程、装着後の調整に至るまでの知識と技術を修得する。

（関連するディプロマポリシー：1, 4, 6）

到達目標（SBOs）

1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。D-5-3-2-1
2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。D-5-3-2-2
3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。D-5-3-2-3
4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。D-5-3-2-4
5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。D-5-3-2-5
6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。D-5-3-2-7
7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。D-5-3-2-8
8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。D-5-3-2-9
9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。D-5-3-2-10
10. 全部床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を理解している。D-5-3-2-11
11. 可撤性義歯のリラインと修理を理解している。D-5-3-2-12

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の講義と実習内容を確認し、教科書と実習書を用いて調べ、事前学修として疑問点を整理しておくこと。各講義に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】

講義後にポストテストを実施する。ポストテストで理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各講義に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/1 (水)	1	小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分野)	全部床義歯補綴学① (振り返り講義) 全部床義歯補綴学 (I)の履修内容(総 論、診察・検査・診 断、印象採得、顎間関 係の記録)を理解す る。 講義・ディスカッシ ョン	1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。 2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。 3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。 4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 無歯顎の病態を説明できる。 b) 概形印象採得と研究用模型について説明できる。 c) 個人トレーの製作について説明できる。 d) 印象材の種類と適応を説明できる。 e) 上下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 f) 上下顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 g) 筋圧形成の意義を説明できる。 h) 精密印象採得の目的と方法を説明できる。 i) 全部床義歯の作業用模型製作の目的と方法を説明できる。 j) 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 k) 咬合高径の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 1) 水平的顎間関係の特に器具を必要としない方法、特殊な器具を使用する方法を説明できる。 m) ゴシックアーチ描記法を説明できる。 n) 咬合床に記入する標示線を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-1, 2, 3, 4, 5] 事前学修：無歯顎の病因と病態及び治療法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	4/1 (水)	2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学② (振り返り講義)</p> <p>全部床義歯補綴学 (I) の履修内容 (総論、診察・検査・診断、印象採得、顎間関係の記録) を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。 2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。 3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。 4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 <ol style="list-style-type: none"> a) 無歯顎の病態を説明できる。 b) 概形印象採得と研究用模型について説明できる。 c) 個人トレーの製作について説明できる。 d) 印象材の種類と適応を説明できる。 e) 上下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 f) 上下顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 g) 筋圧形成の意義を説明できる。 h) 精密印象採得の目的と方法を説明できる。 i) 全部床義歯の作業用模型製作の目的と方法を説明できる。 j) 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 k) 咬合高径の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 水平的顎間関係の特に器具を必要としない方法、特殊な器具を使用する方法を説明できる。 m) ゴシックアーチ描記法を説明できる。 n) 咬合床に記入する標示線を説明できる。 <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-1, 2, 3, 4, 5] 事前学修：無歯顎の病因と病態及び治療法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	4/1 (水)	3	<p>米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学③ (人工歯の選択と咬合器装着)</p> <p>人工歯の選択と咬合器装着について理解する。 講義・ディスカッション</p>	<ol style="list-style-type: none"> 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 <ol style="list-style-type: none"> a) 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯の選択を説明できる。 b) 咬合器装着について説明できる。 <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-5, 6, 7] 事前学修：人工歯の種類、選択方法、咬合器装着方法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

講義	4/2 (木)	4	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	全部床義歯補綴学④ (前歯部人工歯の排列) 前歯部人工歯の排列について理解する。 講義・ディスカッション	7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 a) 基本的な前歯部排列の方法を説明できる。 b) 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-8] 事前学修：前歯部人工歯の排列の目的と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	4/15 (水)	1	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	全部床義歯補綴学⑤ (臼歯部人工歯の排列と咬合様式) 全部床義歯に用いる臼歯部人工歯の排列について理解する。 講義・ディスカッション (咬合様式) 全部床義歯に与える咬合様式の種類を知り、両側性平衡咬合を理解する。 講義・ディスカッション	(臼歯部人工歯の排列) 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 a) 臼歯部人工歯の排列の基本原則を説明できる。 b) 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 (咬合様式) 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 a) 咬合様式の種類を列挙し、有歯顎と無歯顎の咬合様式の違いを説明できる。 b) 全部床義歯に付与する咬合様式を列挙し、説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-8] 事前学修：臼歯部人工歯の排列の目的と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	4/22 (水)	1	<p>原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学⑥ (歯肉形成とろう義歯試適)</p> <p>ろう義歯試適時の検査内容、研磨面形態の意義と歯肉形成の方法を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。 a) ろう義歯試適時の検査項目を列挙できる。 b) 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。 c) 研磨面形態が義歯の維持、安定におよぼす影響を説明できる。 d) 研磨面形態の形成法と歯肉形成を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-7, 8, 10] 事前学修：ろう義歯試適時の検査項目と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	6/25 (木)	4	<p>米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学⑦ (埋没・レジン填入・重合・研磨)</p> <p>埋没・レジン填入・重合・研磨の方法を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。 a) 全部床義歯と部分床義歯の埋没・レジン填入・重合・研磨の方法について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-9, 10] 事前学修：埋没・レジン填入・重合・研磨の方法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	7/1 (水)	1	<p>小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学⑧ (咬合器再装着と咬合調整・義歯装着と調整)</p> <p>全部床義歯の装着に際する診察や注意ならびに装着後の患者指導を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。 10. 全部床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を理解している。 a) 粘膜面及び咬合面の調整について説明できる。 b) 患者指導内容を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-10, 11] 事前学修：咬合器再装着による咬合調整の目的と義歯装着の手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

実習日程表

実習	4/8 (水)	1 2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録 咬合器装着③④)</p> <p>顎間関係の記録の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。</p>	<p>5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 b) 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 c) 咬合床に標示線を記入できる。 d) スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
実習	4/8 (水)	3 4	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列①②)</p> <p>人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 b) 適切な被蓋関係を付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

実習	4/9 (木)	1 2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列 ③④)</p> <p>人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 b) 適切な被蓋関係を付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
実習	4/15 (水)	2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯の排列 ⑤)</p> <p>人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯の排列について理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 b) 適切な被蓋関係を付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：前歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>4/15 (水)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排列 ①②)</p> <p>人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 b) 顎堤に対する人工歯の頬舌的及び近遠心的な位置関係を付与できる。 c) 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：臼歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>4/16 (木)</p>	<p>2 3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排列 ③④⑤)</p> <p>人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 b) 顎堤に対する人工歯の頬舌的及び近遠心的な位置関係を付与できる。 c) 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：臼歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>4/22 (水)</p>	<p>2 3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯の排列⑥⑦⑧)</p> <p>人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯の排列を理解する。</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 a) 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 b) 顎堤に対する人工歯の頬舌的及び近遠心的な位置関係を付与できる。 c) 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：臼歯部人工歯の排列の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>5/13 (水)</p>	<p>2 3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (歯肉形成と研磨面形態①②③)</p> <p>完成義歯の研磨面形態、上顎義歯の口蓋後縁封鎖を理解し、術式を習得する。</p>	<p>8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。 a) 適切な研磨面形態を付与できる。 b) ポストダムを付与し、後縁封鎖ができる。 c) 上顎基礎床口蓋部をワックスに置換できる。 [D-5-3-2-7, 8, 9、E-5-3-4、E-5-3-4-2] 事前学修：歯肉形成と研磨面形態及び後縁封鎖の目的と手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>7/15 (水)</p>	<p>1 2</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習(実習試験)</p> <p>全部床義歯を製作するうえで必要な基本的手技についての理解を問う。</p>	<p>1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。 3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。 4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 6. 全部床義歯の人工歯選択を理解している。 7. 全部床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。 8. 全部床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。 9. 全部床義歯のろう義歯試適、装着及び調整を理解している。 a) 全部床義歯を製作するうえで必要な基本的手技を説明できる。 b) 全部床義歯を製作するうえで必要な基本的手技を実施できる。 [D-5-3-2-1, 3, 4, 5, 7, 8, 9, E-5-3-4, E-5-3-4-2] 事前学修：全部床義歯を製作するうえで必要な基本的手技について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>8/19 (水)</p>	<p>1 2</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野)</p>	<p>歯科補綴学総論実習①②(概形印象採得と研究用模型の製作)</p> <p>概形印象採得と研究用模型の製作の方法を相互実習にて習得、概形印象採得と研究用模型の製作の手技を理解する。</p>	<p>8. 固定性補綴装置の意義と具備条件を理解している。 9. 固定性補綴装置の種類、特徴及び製法(CAD/CAMを含む)を理解している。 10. 無歯顎及び歯列欠損に伴う障害の種類と病態を理解している。 11. 可撤性義歯の種類、目的、意義及び適応症を理解している。 a) 概形印象採得ができる。 b) 研究用模型の製作ができる。 [D-5-3-1-1, 2, D-5-3-2-1, 2, E-5-3-4-2-3] 事前学修：概形印象採得と研究用模型の製作の方法について、教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>8/19 (水)</p>	<p>3 4</p> <p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野)</p>	<p>歯科補綴学総論実習③④ (咬合と下顎運動の検査、チェックバイト、顔弓記録)</p> <p>咬合と下顎運動の検査の方法を習得し、チェックバイトと顔弓記録の手技を理解する。</p>	<p>6. 顎関節の構造と機能を理解している。</p> <p>13. 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。</p> <p>a) 咬合と下顎運動の検査ができる。</p> <p>b) チェックバイトが行える。</p> <p>c) 顔弓記録が行える。</p> <p>[E-2-2-4、E-5-3-4-1-5、E-5-3-4-2-5]</p> <p>事前学修：下顎位の種類や下顎運動の特徴、チェックバイト、顔弓記録、フェイスボウトランスファーの意義と目的、及び手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>8/20 (木)</p>	<p>2</p> <p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野)</p>	<p>歯科補綴学総論実習⑤ (咬合器装着)</p> <p>咬合器装着の方法を習得し、咬合器装着の手技を理解する。</p>	<p>13. 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。</p> <p>a) 模型を調節性咬合器へ装着できる。</p> <p>[E-5-3-4-2-6]</p> <p>事前学修：下顎位の種類や下顎運動の特徴、チェックバイト、顔弓記録、フェイスボウトランスファー、咬合器装着の意義と目的、及び手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>8/20 (木)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野)</p>	<p>歯科補綴学総論実習⑥ ⑦ (半調節性咬合器の顎路調節)</p> <p>咬合と下顎運動の検査の方法を習得し、半調節性咬合器の顎路調節の手技を理解する。</p>	<p>6. 顎関節の構造と機能を理解している。</p> <p>13. 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。</p> <p>a) 咬合と下顎運動の検査ができる。</p> <p>b) 半調節性咬合器の調節機構の説明ができる。</p> <p>c) 半調節性咬合器の顎路調節ができる。</p> <p>[E-5-3-4-2-6]</p> <p>事前学修：下顎位の種類や下顎運動の特徴、半調節性咬合器の特徴と顎路調節の意義、目的、及び手法について教科書よ実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
-----------	---------------------	----------------	---	--	---

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	無歯顎補綴治療学 第4版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2022年
教	コンプリートデンチャーテクニック 第6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義・実習の評価方法は、以下の評価方法と割合で行う。

- ・定期試験 70%
- ・平常点（ポストテスト）10%
- ・実習点（試験、技能・態度）20%

合格は65点以上とする。

実習評価において、全ての実習内容を履修し、ライターの確認、検印を受けることで、実習試験の受験資格を得ることができる。

到達目標	DP	実習試験	小テスト	定期試験	合計
1、2	1.4	5	2	14	21
3	4	5	2	14	21
4、5	1、4、6	5	2	14	21
6、7、8、9	1、4、6	5	2	14	21
10、11	4、6	0	2	14	16
合計		20	10	70	100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

【フィードバック】

- ・非常勤講師担当以外の講義では講義後に試験（ポストテスト）を行い、試験に関する解説は、次の講義時にフィードバックする。
- ・提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング】

講義/演習日程表の「ユニット名 内容」の欄に別途記載済み。

【ICT】

講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ジルコニア焼結用ファーネス一式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
歯科用拡大鏡・サージテルルーペ・オークリレーター	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成、技工のため
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
10.2インチiPad Wi-Fiモデル	MK2P3J/A	1	視聴覚用機器	学生講義、研究用